

<東北地区納税貯蓄組合連合会長賞>

## 税金について

いわき市立平第三中学校

1年 遠藤 大晟

僕は、税について、あまり深く考えることはありません。そこで、身近なところから、税金で成り立っているものを調べてみました。

一番身近な学校、この校舎や机や椅子、本また、勉強を教えるための、先生の確保など、公立の学校は、ほとんどが、税金で賄われているそうです。学校1つをとっても、沢山のお金が必要だと思います。税金を納めてくれている方のおかげで、僕たちは、勉強ができ、楽しい学校生活を送れていることを知ることができました。

次に、僕は、ソフトテニス部に所属しています。よく、上荒川公園のテニスコートを使います。父と一緒に休日にテニスをしに行きましたが、父が想像していたより安く利用することができ、驚いていました。これも、市で管理してくれているからこそ、利用しやすい料金で、利用することができるのだと感じました。

その他では、道路の整備や、警察による治安の維持、火災発生時の消防による消火活動など、色々なことに税金が使われています。また、JRももともとは、国鉄と呼ばれており、国が整備したものでした。こう考えると、個人や小さな組織では到底できないようなサービスを、国、または自治体が国民、市民から集めた税金により、率先して行っていることを感じました。

僕は、桜の有名な富岡町の夜の森地区の出身です。僕の家は、震災による原子力発電所の事故の影響で、15才以下の僕は自宅に立ち入ることができません。当時、僕は、小学校2年生でした。春には桜のトンネルを歩いて、学校まで行き、また、夜は家族で夜桜を見にいきました。震災後は、毎年桜の花が咲くと、両親がビデオカメラで、桜や

自宅、通学路を録画してくれ、それを見るのが楽しみになっています。その桜についても、震災後、町民に見てもらえるように、早いうちから、除染が行われました。また、震災時は、とても大変な思いをしましたが、色々な方々からたくさんの支援をしていただき、とても感謝しています。ここでも、ボランティア等を除き、多くは税金が使われています。

こう考えると、税金で身の回りのあらゆる事が支援されているのだと感じています。今は、消費税しかおさめることができませんが、大人になったら、働いて、みんなが豊かで、充実した生活をおくれるよう、納税をしたいと思います。